

## 東京医療保健大学 女子バスケットボール部 恩塚亨監督のドキュメンタリー番組が 2022年3月27日(日)13時半～14時にBSフジにて放送

学校法人 青葉学園が運営する東京医療保健大学(本部：東京都品川区、理事長：田村哲夫、学長：亀山周二、以下本学)の女子バスケットボール部 恩塚亨監督は、2022年3月27日(日)13時半～14時にBSフジのドキュメンタリー番組にて取り上げられます。恩塚亨監督の指導法「ワクワクが最強！」をテーマに、昨年12月のインカレ5連覇の秘訣に迫った内容となっています。

告知動画：<https://youtu.be/x1ThivS41WY>



本学の女子バスケットボール部は、本学創設当時、渋谷教育学園幕張中学校・高等学校の教員だった恩塚監督の提案によって2006年に創部しました。創部当初は部員5名のみでしたが、恩塚監督の指導によって強豪校と呼ばれるようになり、インカレ5連覇を果たす部へと成長しました。

また、一方で恩塚監督は、バスケットボール女子日本代表においても、2006年からビデオコーディネーター、2017年からはアシスタントコーチとして活動していました。2021年9月にはヘッドコーチに就任し、直後に実施された「FIBA女子アジアカップ2021」で優勝を果たしました。今年度で東京医療保健大学の監督を退任し、2022年度からは代表活動に専念し、パリ五輪での優勝を目指していきます。

恩塚監督の指導法は、選手を「ワクワク」させるマインドセットを特長としています。しかしこれはコーチを始めた当初からではありませんでした。恩塚監督が指導法を変えた背景が本番組で紹介されます。

番組内では恩塚監督の指導法について、バスケットボール女子日本代表の渡嘉敷来夢選手や、林咲希選手、本学の伊藤彰浩アシスタントコーチ、木村亜美選手(4年生・2021年度主将)、パレイのりこ選手(4年生)のインタビューから紐解きます。

ぜひ、ご覧ください。

## ■恩塚 亨(おんづか とおる)監督プロフィール

生年月日：1979 (昭和54) 年6月5日生まれ(42歳)

出身地：大分県中津市

出身校：中津南高校卒業→筑波大学卒業→早稲田大学大学院修了



コーチ歴	所属	主な戦績等
2002-2009	渋谷教育学園幕張高校	※コーチ
2006-	東京医療保健大学 女子バスケットボール部	2015年：第49回、2016年：第50回、2021年：第55回 関東女子バスケットボール選手権大会 優勝 2016年：第68回 全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ） 準優勝 2017-2021年：第69回～73回 全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ） 優勝 ※ヘッドコーチ（2006年に部を創設）
2007-2012 2016	女子日本代表	※2007-2012、2016年：アナリスト
2015	ユニバーシアード女子日本代表	※2015年：アシスタントコーチ
2017-2021	女子日本代表	2017年：FIBA 女子アジアカップ 2017 優勝 2018年：FIBA 女子ワールドカップ 2018 9位 2019年：FIBA女子アジアカップ 2019 優勝（大会最多連覇記録の4連覇達成） 2021年：東京2020 オリンピック 銀メダル（※初のメダル獲得） ※2017-2021年：アシスタントコーチ
2021-	女子日本代表	2021年：FIBA女子アジアカップ 優勝 ※2021年9月-：ヘッドコーチ

## 【東京医療保健大学とは】

- 理事長 : 田村哲夫
- 学長 : 亀山周二
- 設立年度 : 2005年
- 本部 : 東京都品川区東五反田
- キャンパス : 五反田キャンパス、世田谷キャンパス、国立病院機構(東が丘)キャンパス、国立病院機構立川キャンパス、船橋キャンパス、雄湊キャンパス(和歌山)、日赤和歌山医療センターキャンパス(和歌山)
- 学部(学科) : 医療保健学部(看護学科、医療栄養学科、医療情報学科)、東が丘看護学部(看護学科)、立川看護学部(看護学科)、千葉看護学部(看護学科)、和歌山看護学部(看護学科)
- 専攻科 : 助産学専攻科、和歌山助産学専攻科(2022年4月開設)
- 大学院 : 医療保健学研究科(修士課程8領域、博士課程3領域)、看護学研究科(修士課程4コース、博士課程)和歌山看護学研究科(修士課程3領域)、千葉看護学研究科(修士課程)
- 学生数 : 3,093名 (2021年5月現在)